

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書 2020年6月30日 兵庫県知事 殿 提出者 住所 兵庫県たつの市神岡町東鶯崎342番地 氏名 リンテック株式会社 龍野工場 常務執行役員 工場長 若狭 毅彦 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0791-65-1051 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	リンテック株式会社 龍野工場
事業場の所在地	兵庫県たつの市神岡町東鶯崎342番地
計画期間	2020年4月1日から2021年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	その他のパルプ・紙・紙加工品製造業 (1499)
②事業の規模	製品出荷額 235.1億円 (2019年度実績)
③従業員数	368人 (2020年4月1日現在)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	
	排出量	115.5 t	t
	（これまでに実施した取組） 各機械別に排出量を調査し、工程内作業洗浄に関して洗浄手順の見直しを実施し、 溶剤使用量の削減を行った。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	
	排出量	110 t	t
	（今後実施する予定の取組） 塗工工程において塗工残液の削減に取組み基準強化等を行い更なる廃油削減を目指す。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 各機械排出廃油（廃油・回収溶剤・廃ウエス）の分別保管。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 各機械排出廃油の更なる分別を推進する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	t
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) -		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	5.2 t	t
(これまでに実施した取組) 真空蒸留回収装置により精製し、再生した溶剤を洗浄用を使用することにより排出量の削減に取組んだ。			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	6 t	t
(今後実施する予定の取組) 工程内で発生する廃油を自社の真空蒸留装置による再生利用に努める。			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) -		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	
	全処理委託量	109.9 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	109.9 t	t
	再生利用業者への処理委託量	109.9 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	109.9 t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物発生部署において、工程改善による廃棄物の削減に取り組んだ。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	
	全処理委託量	105 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	105 t	t
	再生利用業者への処理委託量	105 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	105 t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>塗工工程において塗工残液の削減に取組み、基準強化等を行うことで更なる廃油削減を目指す。</p>			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和元年度実績）】		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	115.5	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>電子マニフェストによる廃棄物全量適正処分のさらなる徹底監視に努める。</p>			
※事務処理欄			

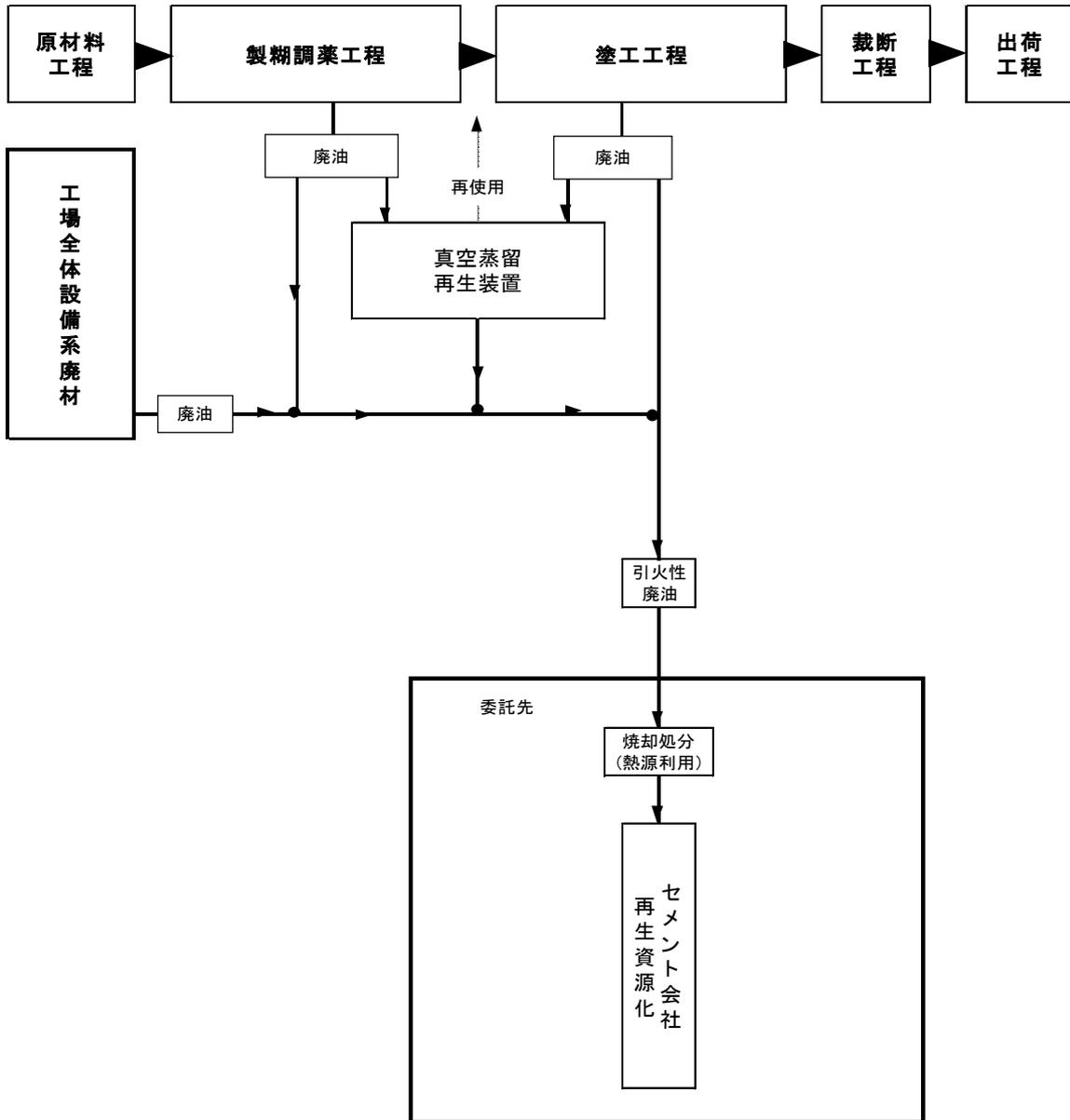
備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

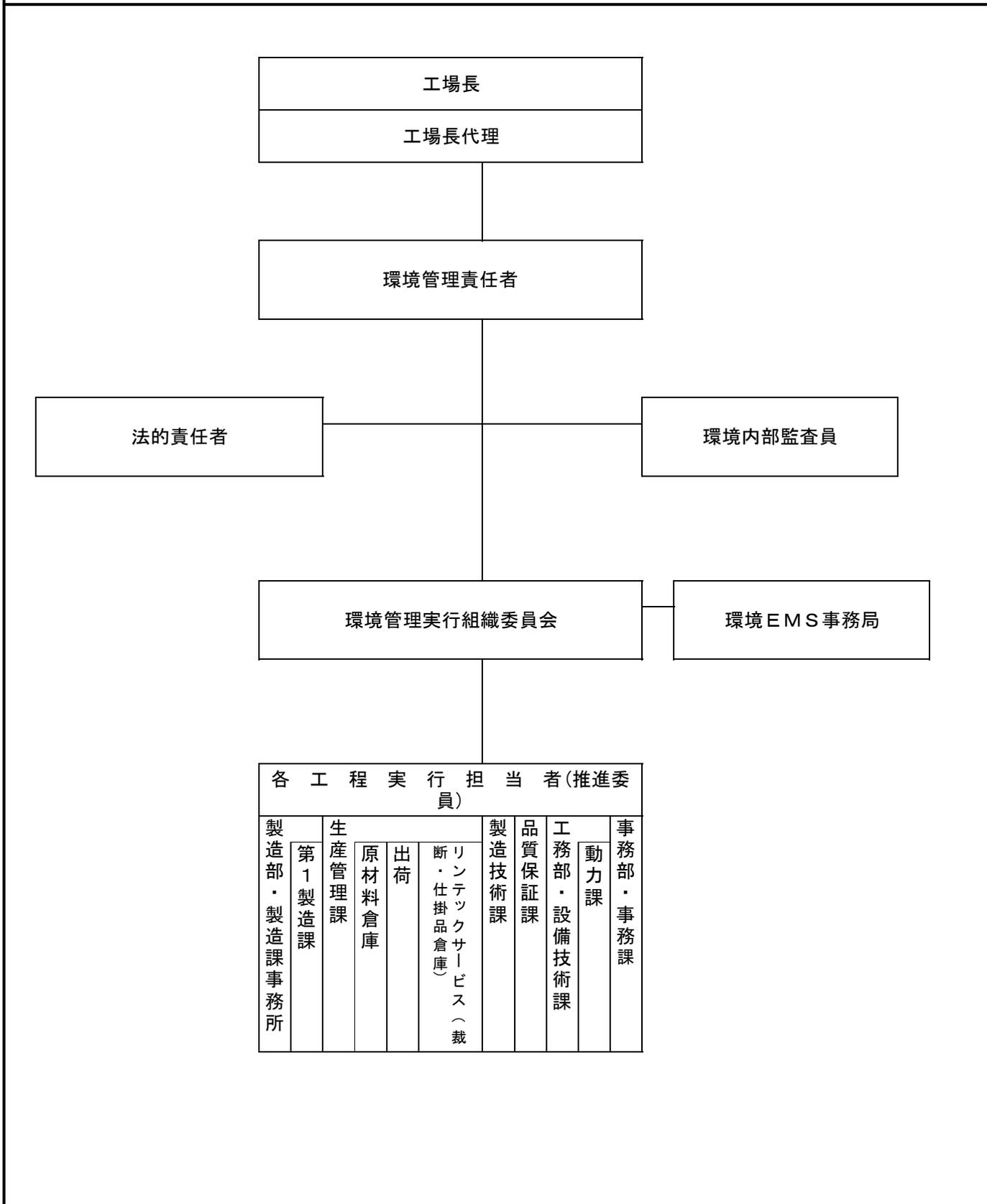
廃棄物処理フローシート

<生産工程フロー>



特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

環境管理組織図（龍野工場）



各工程実行担当者(推進委員)										
製造部・製造課事務所	第1製造課	生産管理課	原材料倉庫	出荷	リンテックサービス (裁断・仕掛品倉庫)	製造技術課	品質保証課	工務部・設備技術課	動力課	事務部・事務課